

Title	物価高き乎人安き乎
Sub Title	
Author	堀切, 善兵衛
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1917
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.11, No.2 (1917. 2) ,p.205(33)- 224(52)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	論説
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19170201-0033">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19170201-0033</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

(正誤) 前號に左の誤植あり

七四頁	第一行	アラモンは	フアラモン
七五頁	第十行	ダーゲアラットは	ターゲアラット
七六頁	第六行	ダーゲアラットは	ターゲアラット
九三頁	第三行	放棄せんことは	放棄せんには

### 物價高き乎、人安き乎

堀切善兵衛

題して「物價高き乎、人安き乎」と云ふ、然れども人間に價を附く可らずとは經濟學上の定説なり、されば茲に所謂「人安き乎」は人間の勤勞に對する報酬の意味なること云ふまでもなし、唯後段幾度か此意味を記述せざる可らざるに當りて其煩勞を省くの便極めて大なるを以て「人」と稱する事としたり。

歐洲戰爭の開始以來我國の物價は漸次騰貴の趨勢を現はし、殊に大正四年末頃より急激なる騰貴を來し、昨五年中には、其傾向一層顯著にして同十二月末に於ては戰爭開始當時に比し約四五割の騰貴を見たり、其結果直接生産業に従事せる者、就中時局關係の事業經營者は孰れも巨額の利潤を擧げたるものゝ如く、又勞働者

階級の如きも或程度まで勞銀の昂騰を見たるが故物價の騰貴を償つて餘りあるもの無きに非ず、然れども直接生産事業に關係せざる階級に至りては大に其趣きを異にするものあり、例へば官吏教師其他の自由職業に従事する人々は少なからず困難を感ずるに至りたるや疑を容れず。

而して政府當局者は一面に於て此物價騰貴たるや主として通貨の膨脹に由るものと見做し、其通貨の膨脹は或は投機熱を盛ならしめ、或は不健全なる事業の濫興を誘ふの恐れありとなし、他面に於ては此物價騰貴は將來我輸出貿易を衰頽せしむるものなるが故今に於て之を抑制するの必要ありと稱し、遂に一億圓の英貨公債應募の策を定め、次で支那、露國等の國債に應ずるの計畫を暗示し、所謂金融調節の爲めに極力盡瘁するの決意を示したりき、吾人は政府の企てたる金融調節は斯の如く善意に出でたるを信ずるものなれども然も之と同時に我國の貧官吏輩が物價騰貴の此趨勢にして繼續したらんには其家計に取りて實に由々しき大事たるに至らんことを憂へたる其結果も亦與つて大なりしこと、認めざるを得ず、然るに政府の金融調節は其聲言の餘りに大なりしと二三大銀行の極端なる警戒

とは相俟つて市場に大なる不安の念を興へつゝありし其間際に突然獨帝の懽和提唱の入電ありしかは株式市場の如き一大恐慌を來し遂には一般金融界及び經濟界にも不測の大打撃を興へんとしたりしより政府當局者も狼狽措く所を知らず殊に議會開會の前後に於て政府の政策は甚だしく世間の不人氣を招ぐの恐れありしより、興業銀行をして市場救濟資金を支出せしめて以て僅かに一時を瀰縫したり、然れども之れが爲めに政府最初の計畫たりし通貨の收縮と物價下落の方針とに正反對なる政策を實行せざる可らざるに至りしは非常の不覺なりしと云はざるを得ず。

凡そ經濟界に最も慎む可きは急激なる變動を避くるに在り、即ち物價騰貴するも將た下落するも漸を以て進むに於ては格別害毒を惹起するに至らざれども急激なる亂高下を來さしむるに於ては其度毎に大富豪をして獨り利益の壟斷を逞ふするを得せしめて中産以下の者は悉く其犠牲者たらざるを得ず、蓋し富豪は有價證券其他の下落したる際に買入れて騰貴したる際に之を賣却するに足るだけの餘力を有するが故何等の苦痛を感せず、否な市場の動搖は却て富豪をして益々

其富力を増加せしむるの機會たるに過ぎざれども中産以下の者は此變遷に處するだけの準備を有せざるが爲め一敗地に塗るゝの外無ければなり、現に大隈内閣時代に試みたる米價調節若くは蠶糸救済の如き孰れも極めて少數の京濱地方の富豪若くは仲買等を利したるに止まり一般農業者乃至は養蠶家を利益せしめたること悉無なりしと云ふも過言に非らず、今回株式市場の動搖に對しても安田系の諸銀行の如きは早くより持株を賣却し次で其貸出しに非常の警戒を加へ其顧客に對し殆んど銀行の門戸閉鎖に等しき態度を取りつゝ有りし其矢先きに政府の金融調節及び媾和入電等の續發するに至りしが故安田系銀行に於ては何等の損失を招かざりしのみならず寧ろ市場下落の其際に於て再び廉價に之を買戻す機會を得爲めに巨額の利得を博したるや明白なり、されば今回の政府の金融調節の如き亦一種の富豪政策と化するに至りし形跡なきに非らず、殊に金融經濟等の方面に何等の經驗智識なき軍人が大藏大臣を兼攝し、市場の動亂を見て周章狼狽し、新たに藏相に就任せしめたる勝田氏其人も多年大藏省の一官吏として單純なる經驗を有したるに止まり經濟金融界に處して自家の確信を有するや否や疑は

しく、時としては銀行業者の言に動されて金融調節の必要ありと認め、時としては仲買取引所委員等の陳情に動されて市場救済の止む可らざるを思ひ、又時として一家の家計上より割り出して物價騰貴を抑制するを肝要なりと思惟するものゝ如し、斯くして政府が何事をか企畫する其度毎に經濟界に動亂の機會を與へ之と同時に富豪を利し中産以下を苦むるに至るは非常の遺憾事なりと云はざるを得ず。

二

我國の物價が歐洲戰争後騰貴したるは争ふ可らざる事實なり、然れども有らゆる物價が國民の忍ぶ可らざる程度まで騰貴したるやと云ふに必ずしも然りと云ふを得ず、現に米價の如きは最近に至るまで餘りに廉なりしかば政府は米價調節の必要ありと認め如何にして米價を相當の價格まで引き上げて多數農民の困憊を救はんかに苦心したり、而して昨今多少回復するに至りたりと雖も未だ甚しく米價騰貴せりと認むるを得ず、之と同時に現今非常に騰貴しつゝある諸物品の市價は獨り我邦に於ける特殊の現象なりや、將た之を調節せんと欲して獨り我邦に

於てのみ特殊の手段方法を講ずるも果して其目的を達するを得るや否や、之が吾人の一考せざる可らざる問題なり。

先づ吾人は今日の物價騰貴は決して我邦に特有の現象に非ずして世界の文明諸國を通じての現象たることを記慮せざる可らず、即ち歐洲戰亂の結果直接交戰國は云ふに及はず、中立諸國と雖も交戰諸國と直接間接に貿易關係を有する諸國に於ては皆一樣に物價騰貴するに至りたる次第にして例へばエコノミストの調査に依れば歐洲戰爭開始當時に比し昨年末の英國物價は約八割の騰貴を爲したること明かなり、即ち我國に於ける約五割の騰貴に比し三割方餘計に騰貴したるを見る可く、佛蘭西、伊多利、露西亞の諸國亦殆んど英國と同様なる、但しは英國以上の騰貴を來したる事は敢て想像に難からざる所なるのみならず、獨逸、奧地利等の敵國側に在りては四面より包圍せられ外國貿易の途殆んど杜絶せる關係上物資供給の不足は聯合軍諸國と同日の談に非ず、從て其物價騰貴は一層甚しかる可きは是れ亦想像に難からざる所なり、更らに局外中立の地位に在る諸國は如何と云ふに合衆國の如きは開戰以來五割の物價騰貴を見たること一般に認めらるゝ所にして此他、西班牙、瑞典、諸國及アルゼンチン、ブラジル、智利等今回の戰爭開始以來盛に輸出超過を告げつゝある諸國は孰れも一般に物價騰貴を來したるものと認む可き理由あり。

是に由りて之を見れば今回の物價騰貴たるや實に世界共通の現象にして決して我邦にのみ限られたる特殊の現象に非らざる事を知る可し、而して其騰貴の原因は戰爭其物にして聯合軍及び同盟側を合して約三千萬人の壯丁は生産界より引き去られて不生産極まる戰鬪行為に従事しつゝあるが故、又生産の一要素たる土地の少なからざる面積が兵亂の爲め其生産力を封せられたるが爲め、世界の物資は夫れだけ其産額を減少するに至りたるや争ふ可らず。加ふるに從來一般貨物の生産に従事したりし工場及び労働者の如きも俄かに軍需品の製造に従事せざる可らざるに至りしより之亦大に一般貨物の産額を減少せしめたるや疑を容れず。斯くて一般貨物の供給不足が世界を通じての物價騰貴の主因たるや言ふまでもなき所なり、但し是れ以外に尙ほ中立國に於ては物價騰貴を促したる一原因あり、そは他なし、通貨の膨脹即ち之にして是等の諸國は交戰國に對し多額の物

資を供給したる其結果輸出超過を來し正貨の流入を促し爲めに其國の通貨を膨脹せしめたることを論を俟たず而して通貨の數量のみが物價高低の唯一の原因に非らざること明白なりと雖も少くとも通貨の數量増加が物貨騰貴の一原因を構成するは争ふ可らざる所なり斯くて合衆國及び我國の如きは直接歐洲諸國に物資を供給したると又戰爭開始前歐洲諸國より貨物の供給を受けたりし諸國への代用的輸出に依りて頼みに輸出貨物の需要を増し爲めに是等貨物の價格を騰貴せしめたるのみならず一面に於ては輸出の増加は通貨の膨脹を來し之に由りて更らに其物價を騰貴せしむるに至りしや論を俟たざる所なり。

果して然らば此物價の騰貴を抑制せんと務むるの決して容易の業に非らざるを知らざる可らず既に歐洲の戰亂こそ世界を通じての物價騰貴の眞原因なりとすれば之を根本的に防止せんと欲せば歐洲戰爭の終局を待つの外なきを知る可し如何に我政府當局者が内地諸物價の下落を計りたればとてそは蟻螂の斧を振つて龍車に向ふが如けんのみ即ち苟くも政府が全國に命じて外國貿易を嚴禁すること徳川三百年の鎖國時代の如くなさざる以上は戰爭の繼續する限り物價騰

貴の趨勢は毫も阻止せらるゝこと非らざる可きなり何となれば苟くも海外貿易の門戸開放せらるゝ間は我國の貨物に對し交戰國は勿論中立國よりも強烈なる需要を惹起せざれば止まざる可く此海外の需要強烈なる間は内地の物價は下落するの理由なければなり然れども今日に於て外國貿易を嚴禁し鎖國條令を發布するが如きは狂人に非らざる以上は敢て想像するを得ざる所なるが故從て此際物價騰貴を根本的に防止すると云ふが如きは痴人の夢を説くよりも更らに愚なる考と論斷せざるを得ず。

三

然りと雖も歐洲戰爭なる主要の原因を離れて其附隨的原因より來る物價騰貴は政府の政策に由りて或程度まで之を防止するは必ずしも不可能なりと云ふを得ず即ち通貨の膨脹よりする物價騰貴の趨勢は適當なる通貨の調節によりて或程度まで之を抑制するを得可し即ち同盟國の國債に應じ若くは支那に貸付け其他海外放資を奨励するに由りて徒らに通貨の國內に集積するを防ぐに於ては管に通貨の膨脹より來る内地の物價騰貴を抑制するを得るのみならず外國に對し

て貸出したる其金額の大部分はやがて輸出獎勵の一手段と化して將來に渡りて今日の貿易順調を維持するの策ともなる可きなり。

又漫りに投機熱の勃興する其結果國民をして徒らに不眞面目ならしめ、浮華輕佻に陥らしむると同時に有價證券米穀等の價を暴騰せしめ引きては一般物價の騰貴を促すに至るや明かにして其極端に走らしむるは元より之を避けざる可らず、從て投機熱の抑制の如き亦物價騰貴防止の一方法たるや疑ふ可らず。而して現政府が試みたる所謂金融調節なるものは是等兩箇の目的を達せんと欲したるもの、如く、政府は先づ一億圓の英國債應募を民間に勧誘して以て夫れだけ通貨の膨脹を避けんと欲したるに當時投機に熱中したりし阪神地方に於ては經濟界の非常に好況なりしと云ふに拘らず英國債の應募の如きは殆んど一顧をだに與へんとせざる有様なりき、即ち英國債募集の發表あるや東京に於ては忽ち數千萬圓の應募ありたるに拘らず、阪神地方に在りては僅々三百萬圓の應募ありたるに過ぎざりしかば政府當局者の如き三千萬圓の誤りなる可しと信せざるを得ざりしと云ふ、然も實際三百萬圓の應募に過ぎざりしを知るや政府は大に驚きて茲に

一大覺悟を爲したるもの、如く、金融調節論は俄然其頭角を擡げ來りて第二第三回の英債應募露國及び支那債の應募等に今後續々資金を誘導するの方針にして大正六年度に新たに流入す可き正貨の其大部分は之を海外に排除し去るの腹案なる旨を發表するに至りたり。而して政府の此決心は由來神經過敏なる財界に少なからざる不安の念を起さしめ諸銀行の如き過度に其警戒を加ふるに至りしかば株式界の如き漸く低落を告げつゝありし其矢先きに獨帝の婦和提唱も是れ有りしかば財界は忽ち恐怖の念を生じ諸株式の如き一大暴落を來すに至り、其影響容易ならざるもの有り、爲に流石の政府當局者も今更ら其金融調節案の利き過ぎたるに喫驚したるもの、如く俄かに「金融の調節は獨り物價の極端に騰貴するを防ぐのみならず、其極端に低落するを防ぐも亦其目的の一なり」と稱して僅か旬日の間に其政策を一變し市價引き上げの爲めに努力するに至りしこそ突止なれ。

要するに政府が金融を調節し投機熱の極端に走らんとするを防止せんと欲したるは決して不可なりと云ふ可らず、然れども吾人は政府が其考を實行するに當

りて甚だ不用意千萬なりしを惜まざるを得ざる也、何となれば政府當局は今日の物價騰貴は世界を通じての物價騰貴にして一國一政治家の施設畫策を以てしては根本に於て如何ともする能はざるの事實を觀過し、我邦の物價騰貴を以て偏ひに正貨の蓄積、通貨膨脹の結果なりと速斷し、此方面の疎通をだに圓滑ならしむれば物價騰貴を抑制する難事に非らずと思惟し、さてこそ英、露、支那等の國債應募に出來得る限り其力を盡さんと決心したる次第なりき、而して其結果は市場攪亂株式市價の暴落を促すの效果ありしは疑なかりしと雖も然も日用品の市價は之が爲めに一向下落するに至りしと認むるを得ず、而して政府當局者は政府が豫め金融調節の其掛け聲を大ならしめつゝ有りしが爲め金融業者も將た一般人民も之が爲め大に警戒したりしが故、媾和入電に依りて或程度までの狼狽に止りたれ、政府が金融調節を云々せざりしならば一般市場の驚愕、狼狽、破綻等は更らに甚大なるものありしならんと稱し、以て自ら辯護しつゝ有り、と雖もこは金融界の實際に通曉せざる官僚者流の机上の空論にして現に今回の媾和入電に由りて市場の狼狽驚愕したること我國の如きはあることなし、米國市場の如き亦頗る打撃を蒙り

たりと稱せられたれども然も株式市價の下落は二三十ポイントを出でざりしこと外國電報の報ずる如くにして我國市場の狼狽とは到底同一の論に非らざりしなり、即ち知る可し、我邦の市場が恐怖其度を失したるは政府の大規模に由る金融調節案に人々不安憂慮を重ねつゝありし、其際に更らに媾和問題の突發したるが爲め遂に極端まで其影響を及したるものに外ならざるを例へば健康體の者は不意に多少の打撃を蒙ること有りとも之が爲めに大影響を受くること少なしと雖も疾病衰弱の身に一打撃を加へんか偶々以て其生命問題に關係を及すが如し政府が聲を大にして金融調節を云々しつゝ有りしは確かに金融市場を病的状態に導き殊に株式市場をして衰弱甚だしからしめたりしが果然媾和入電に由りて大破綻を生ずるに至らしめし也。

斯くて我經濟界に勃興せんとしつゝありし新事業計畫の如きは頓に挫折せらるゝに至り、既存事業の擴張の如き亦當分中止の外なきに至りたり、勿論戰爭の好景氣中に勃興する新事業中には不健全なる基礎の上に置かるゝもの少なからざる可く、又既存事業の擴張中にも如何はしき種類のもの之れなきに非らざる可し



と雖も然も經濟界の發展に連れ新事業の勃興せんとする際に於て此種のもの、多少其間に介在するは避く可らざる所にして要は新企業中の過半が成效して他日に殘存するを得ば満足なりと云はざるを得ず、蓋し新事業計畫が全部成效を見るが如きは到底不可能にして成效するものあり又失敗に了るものあるは經濟界當然の現象に外ならざれば也、故に務めて基礎不安定なる事業の計畫を爲すものに對して世間に警戒を興へ其取締を嚴にするは大に可なりと雖も一般的に經濟界に恐怖疑懼の念を起さしめて新企業を阻止せしめ進歩發展の氣運を挫折せしむるが如きは大なる禁物と云はざるを得ず、而して此見解よりして吾人は政府の金融調節が其效を收めたる點極めて少なくして寧ろ我經濟界の發達に悪影響を及ぼしたる所少なからざるを認めざるを得ざるなり、金融調節、投機熱の抑制必ずしも不可なりとなさず、然れども徒らに其聲を大にして世人を驚ろかし、不安の念に驅られて狼狽其度を失せしむるが如きは尤も策の得たるものに非らず、即ち知らず識らずの間に自然に金融調節の實效を擧げ投機抑制の途を講ずること肝要なりと云はざるを得ず、殊に政府當局者の發表したるが如く大正六年度に受け入

る可き我正貨の總額を豫斷し、此豫斷を基礎として内何億は英國に何千萬圓は露國に何億何千萬圓は支那へ貸附くる計畫なり云々と稱するに至りては所謂捕らぬ狸の皮算用と評す可きものにして歐洲戰亂の繼續を前提としてこそ初めて本年度に於ける數億の正貨増加を算入し得れ、其歐洲戰亂の繼續は何人と雖も確然見定むるを得ざる所にして政府當局者が今年末まで必ず其繼續す可きことを豫想して其計畫を立てたるなりと云は、誰か其大膽無謀なるに驚かざるもの有らんや、恰も成金者流が將來入手す可しと豫想したる其利益を見當てに土地家屋の購入を先約したるに一朝にして其利益と信じたりしは大損失と化し去りて茫然自失するが如き状態に陥らざるを保す可きや否や、吾人は既に確實に取得したる我國の正貨にして過剩なりと認めんか之を海外に貸出すに何等異論なきものなれども未だ取得せざる其部分まで豫め算用して海外貸附けの計畫など公言したる政府當局の不謹慎且つ輕卒なるを非難せざる能はざる也。

## 四

歐洲戰亂の發生以來我國の物價四五割方の騰貴を告げ其結果一定の俸給に生

活しつゝある中流社會の困難に陥りたるは何人も之を認むる所なりと雖も然も其騰貴たる容易に抑制する能はざるは前述せる所の如し、而して物價何程騰貴すと雖も各人の收入も之と同一比例若くは夫れ以上に増加しつゝあるに於ては何等の困難を生ず可き理由あらざるなり、果して然らば我國民の所得は戰爭開始以來物價騰貴と同一割合の増加を爲したるや否やと云ふに明かに之を否定せざるを得ざる可し、勿論戰時關係の事業經營者若くは間接直接に時局に關係ある産業に従事する勞働者の如きは敢て同一割合と云はず中には夫れ以上の收入を得るに至りたるもの亦無きに非らざる可しと雖も然も國民全體の上より之を見れば斯の如きは一少部分なりと云はざるを得ず、殊に直接生産事業に關係なき自由職業に従事する人々の如きは戰前に比し收入の増加は殆んど皆無なるに獨り日用物資の騰貴を來したる其結果尤も不利益の地位に陥りたるや言を俟たざる所なる可し、從て物價騰貴の苦痛を訴ふるは常に此階級に初まるは敢て怪むに足らざるなり。

若しも人間が一般貨物と同じく其價の廉なる場所より高き地方に自由に移動

せしめ得るものならんには物價騰貴と共に人間の報酬も亦騰貴して其間に何等の不調和を生ずること無かる可し、例へば歐洲戰爭の結果我軍需品其他の物品が歐洲其他に輸出せらるゝと同時に我同胞も世界に於て人間の需要尤も大なる地方に輸送せらる可しと雖も人間と一般貨物とは其根底に於て混同するを許さざる點あるのみならず「勞働は最も移動し難き貨物なり」とは千古を通じての金言たるを失はず。從て歐米諸國に於ける人間の勤勞に對する報酬と我國の夫れとの間に多大の相異ありと雖も容易に其權衡を得るに由なきなり、一般貨物に於ても内外を比較して我貨物の廉價なりしもの從來無きに非らず、即ち長途の輸送に耐へざる貨物の如き之なりと雖も苟くも輸出入の可能なる以上は漸次内外價格の相異を失ふに至るや論なきなり、斯くて今日歐米諸國の日用品と我國の夫れとを比較するに苟くも其品質に相異なき以上は我國に於て特に廉なりと云ふもの殆んど之れなしと稱して可なり、唯我國民の生活態度は歐米人に比して尙ほ極めて低位に在るが故多くは粗悪品を以て満足するが爲め一見價廉なるが如しと雖も事實我國の物價は今日に於て殆んど世界並みの標準に在りと稱して敢て不可な

かる可きなり、然るに一度人間の勤勞を比較せんか到底同日の談に非らざるは何人も知悉する所なり。

今試みに東京商業會議所の調査に係る市内諸職工の賃銀を見るに大正五年九月に於て四十有餘の職業中尤も高きは洋服仕立職に従事するものにして其裁方職は普通日給二圓四十錢同縫方一圓五十錢裁方最高三圓五十錢最低一圓七十五錢縫方最高一圓七十錢最低一圓次に馬具職の一圓五十錢石工の一圓四十錢煉瓦積職の一圓三十錢等は其收入尤も多き部類にして此他日給一圓以上を得るものは塗師、鋸職、袋物職、木挽、大工、左官、屋根職、指物職、經師、船大工等を算するに過ぎず、他は悉く日給一圓に上らざるなり、勿論こは東京市内の勞銀なるが故全國を通じて斯の如しと云ふこと能はず、全國を平均すれば前掲の諸勞銀も更らに下位に在るものと認めざるを得ざる也。

歐洲戰爭の結果内地の諸工業は總て非常の盛況を呈するに至り従て下層社會の景氣も亦非常なりとは吾人の常に耳にする所なれども然も以上の勞銀を以てすれば勞働者階級が一般に非常の好景氣なりとは信ずるを得ず、殊に之を戰爭開始以前の大正二年の夫れと比較するに勞銀増加の割合は極めて少なく到底物價の四五割方騰貴したるとは同日の談に非ざるなり、蓋し戰時關係の諸工業若くは間接に時局の影響を受けたる事業中には巨額の収益を擧げつゝ有るもの少なからざる可く、是等の方面より勞働者に對する需要頓に増加するに至りたる事は想像するに難からざる所なれども元來勞働者若くは勞働希望者の極めて多數なる割合に直接間接時局の影響に依りて増加したる勞働者に對する需要は其範圍さ迄大なりと云ふを得ず、従て勞働階級全般の勞銀を著しく上騰せしむるの力未だ之れなきものと斷定せざるを得ざるなり。

然りと雖も前掲の諸職業に従事するものは兎も角も日給一圓以上を得るが故我國の下層階級としては差し當り非常の生活難を感じつゝありと云ふを得ざれども下層月給取りの輩に至りては其困難想像に餘りあるものあり、例へば小學校教師、巡査、諸官廳の下級雇の如きは一箇月三十圓の收入に満たざるもの頗る多きが故近來の如く一方に於て物價騰貴の傾向愈々大なる時に當りて尤も痛苦を感ずるは此輩なりと云ふを得可し、而して彼等の收入を歐米諸國の同一境遇に在

るものと比較すれば其相異驚く可きものあるや亦疑を容れざる也。

今日の經濟組織に於て貨物の多くは世界共通なり故に我國に於てのみ法外に高價なりと云ふの事實あることなし又我國に於てのみ特に之を低廉ならしめんとするも所誼不可能なるや前述せる所の如し。されば我國に於て物價の騰貴と國民の生活とを調和せしむるの途は唯人間勤勞の代價を昂騰せしむるの外なきこと自ら明かなる可し。而して勤勞の代價たるや根蒂に於て需要供給の一般原則に支配せらるゝは云ふまでも無き所なれども然も之と同時に舊慣打破輿論特殊階級の團結的要求等は亦多大の勢力と影響とを其間に與へ得るものなることを疑はず而して政府當局者の如きも所謂金融調節若くは物價騰貴抑制策の如きに没頭して其失敗を繰返さんよりは寧ろ人間の勤勞を騰貴せしめ各人の收入を増加せしむるの策を講ずること肝要なる可し例へば政府が下級使用人の待遇を改善し其給料を増加するは之れ間接に一般勞働者の勞銀昂騰を促す一因たるに至る可きなり今日の政府當局者の如く物價騰貴をのみ憂へて人價の騰貴せざるを憂へざるは我國國民經濟を正當に理解せざるものと云ふ可きなり矣。

### 英國に於ける小農場運動の發展と

#### 戦後の土地政策 (一)

三 邊 金 藏

英國に於ける小農場運動は一面より之を言へば必しも新規を以て目す可きものにあらず。蓋し十八世紀の後半、アッサヤングの時代に於て當時益々増加する大農場に對して小農場の維持若くは挽回を講せる運動の既に熾盛を極めしものあり、而して其後ヤングの議論實際に勝を制して大農場の利益一般に承認せられたる時代に於ても此運動は未だ全く終熄することなくして以て十九世紀の半ばに及び穀物條令の廢止に引續きて商工業頻りに殷盛を極め都市に集中する過剩人口を吸収し盡すものあるに至りて初めて鎮靜に歸したるものに外ならざればなり。然れども更らに他方面より之を見れば英國に於ける近時の小農場運動